

あゆみ学園だより

2024年7月号
福岡市社会福祉事業団
福岡市立あゆみ学園

今年、例年より遅い梅雨入りでしたが、近年の災害級の雨量や降り方にはならないよう願うばかりです。さて、先月は個別面談が終わり、個別支援計画の確認も出来て本格的に療育が進んでいます。年長児さんは、就学に向けた学習会や学校見学を終え、先輩の保護者の話も参考にして進路を考えていく時期になりました。色んな側面からの情報を得て、就学後の生活全般の様子をイメージしながらお子さんや家族にとってより良い選択につながることを願っています。

今月初旬は、市所管課から親子通園をしている方を対象に、あゆみ学園の南部療育センター移転についての保護者説明会が実施されます。3日間設定し、各グループの通園日に行いますので、日程調整の上ご参加ください。
副園長 松元美智子

行事予定

5	金	センタープール (ぱんだ・きりん・ぞう・りす)	19	金	先輩保護者の話 (ぱんだ・きりん・ぞう)
8	月	先輩保護者の話(りす)			交流保育事業
9	火	視覚スクリーニング			(うさぎ・ぱんだ・きりん・ぞう)
10	水	学習会「食事」(ひよこ) 保育交流事業(ひよこ)	22	月	グループ懇談会(ぞう)
11	木	学習会「食事」(ひよこ) 保育交流事業(ひよこ)	23	火	グループ懇談会(きりん) 学習会「福祉制度」(5歳児)
12	金	センタープール グループ懇談会(うさぎ)	24	水	避難訓練 グループ懇談会(ぱんだ)
17	水	グループ懇談会(ひよこ)			園長懇談(ひよこ)
18	木	グループ懇談会(ひよこ)	26	金	保護者会 園長懇談(うさぎ・りす)
			30	火	園長懇談(きりん・ぞう)
			31	水	園長懇談(ぱんだ)

夏の感染症と熱中症

夏最盛期です。新型コロナウイルス感染症が5類感染症になり、世の中の注意の度合いが緩んで来るにしたがって、いろいろな感染症が増加しています。A 群溶連菌感染症、感染性胃腸炎(嘔吐下痢症)、新型コロナウイルス感染症、手足口病などです。

感染性胃腸炎にはウイルス性と細菌性があり、冬から春はロタウイルスやノロウイルスが有名です。夏は細菌性の食中毒が多くなり、サルモネラ菌(卵など)、腸管出血性大腸菌O157(牛肉など)、カンピロバクター(鶏肉など)が有名です。いずれも十分な調理の加熱で菌は死にますので調理方法や調理後の温度管理が重要です。

新型コロナウイルス感染症は、また新しい流行株(JN.1 や XDQ)が流行ってきました。重症化しやすい方たちは要注意です。ワクチンは65歳以上の高齢者は定期接種ですが、その他の年齢は任意接種になります。

A 群溶連菌感染症が猛威を振るっていますが、いわゆる「扁桃腺が腫れて熱が出る」病気です。抗菌剤がよく効きます。極めてまれではありますが劇症型もあり、体の深い部分(皮下組織や筋膜、筋肉)に広がって組織が腐れていく病気で「人食いバクテリア」とも呼ばれています。

手足口病は口の周り、手のひら、足の裏、膝やお尻周りに発疹が出ます。

この時期熱中症にも気を付けたいですね。外出時には体温が上がりすぎないように直射日光を避けること、部屋の中でもクーラーなどを使って気温を下げる、水分と電解質(塩分)と糖分をしっかりとることなどに気を付けてください。
小児科医 宮崎千明